

科目名	地域福祉研究 [院]					単位	2.0
担当教員	林 博幸						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2684

●授業のテーマ

地域福祉研究の視点と方法，実践の展開方向

●到達目標

地域福祉とは何か，それを推進する担い手および実践に問われる視点と方法など基本的な枠組を理解する。

地域福祉をめぐる概念，理論・実践の意義について代表的な研究者の考え方を学び，最近の政策や現場実践に問われる課題を明らかにする。

●学習内容(授業概要)

地域福祉という領域の歴史的意義や政策・制度としてのあり方に関する理論的な検討を基本とする。それを通じて，地域・自治体を基盤として推進される地域福祉の実践的な課題を多面的に研究する。

また，受講者の関心にもとづいて福祉現場・地域における現実・事例を取り上げ，今日の地域福祉をめぐる諸問題および実践の指針を検討する。

●学習内容(授業計画)

1. 授業のねらいと進め方について
2. 地域福祉の課題と社会的性格
3. 地域福祉活動の担い手と実践の指針
4. 地域福祉の概念
5. 地域福祉の構成要素
6. 福祉サービスの展開方向
7. 社会福祉の現代的課題
8. 社協活動と住民組織化
9. 地域福祉における事業的側面と運動的側面
10. 地域福祉をめぐる事例検討 ①各施設・機関
11. ②地域住民団体・NPO等
12. ③社協活動
13. ④行政施策
14. ⑤まちづくりの先進事例
15. まとめー地域福祉研究と実践の課題

●準備学習・事後学習の内容

事前には、予定する文献等を精読して各理論への理解を深めておくこと。また、各自が紹介・検討する事例や教訓，問題提起などを準備しておく。

全体を通じて，社会福祉の応用分野ともいえる地域福祉の意義をより鮮明にするための考察に心がける。

●成績評価方法・基準

- 1) 発表内容や議論への参加状況…40%
- 2) 期末のレポート試験 …60%

●テキスト（必携）

扱う文献等を授業時に配布する。

●参考文献／その他

適宜紹介する。

●履修上の注意

授業で取り上げる文献等は主要な研究と政策の重点課題とみなされるものに限られるので、各自の関心ある分野・テーマにかかわる独自の議論・考え方などについては自主的な学習を行い、発表や討議にいかしてほしい。